天吊りを行なうお客様へ

取付業者責任のもと、アイリスオーヤマ製テレビ転倒防止ワイヤー KTBW-600等の適切な強度ワイヤーを使用し、天吊りマウントからプロジェクターが落下しないように落下防止策を講じてください。

各金具の取扱説明書に記載されている安全上のご注意を必ずお読みください。

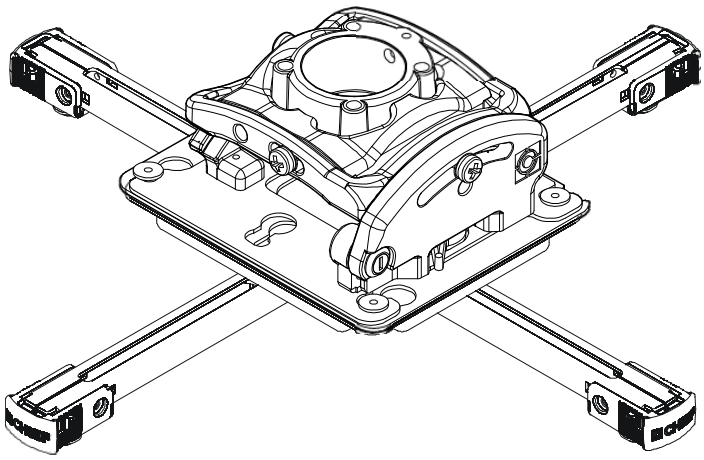
注意

- **落下防止のため、必ずワイヤーケーブルを取り付けてください。**
- **地震があった場合は、必ず販売店またはサービス会社に点検を依頼してください。**
  地震により金具が破損したりネジが緩んでいるおそれがあります。そのまま使用を続けると製品が落下し、けがなどの原因になることがあります。

取扱説明書

CHIEF®
A brand of legrand®

天吊りプロジェクターマウント
RPMAU2B / RPMAU2W



RPMAU2(B/W)

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前にこの 「取扱説明書」 をよくお読みのうえ正しくお使いください。
とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せる様に保管してください。

必ずお守りください

・本製品はプロジェクター専用の天吊りブラケットです。天井から吊り下げるためには別途オプション製品のシーリングマウント、ポールが必要になります。別途お買い求め下さい。

・プロジェクター本体は別売りです。別途お買い求めください。

・天吊り設置は特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。
お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

●プロジェクター取付重量（耐荷重）22.7kgを厳守して下さい。耐荷重を超える重量のプロジェクターを取り付けないでください。

●取扱説明書で指定しているパーツを使用してください。

安全上のご注意　ご使用の前に必ずお読みください

⚠ 警告と注意！

警告：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

警告：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

プロジェクター取付重量（耐荷重）22.7kgを厳守して下さい。落下や破損などの事故やけがの原因になりますので、耐久荷重を超える重量のプロジェクターを取り付けないでください。

⚠ 警告

部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。

⚠ 警告

取付けているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、ブラケット本体や、プロジェクターの落下につながり非常に危険です。

⚠ 警告

ボルトやネジ類は指定の位置に指定の本数を確実に取り付けてください。また天井など躯体に取り付けるための固定ネジやアンカー部材などは付属しておりません。
壁の材質や構造に適合したネジやアンカー材料をご用意ください。

⚠ 警告

開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、けがの原因となります。

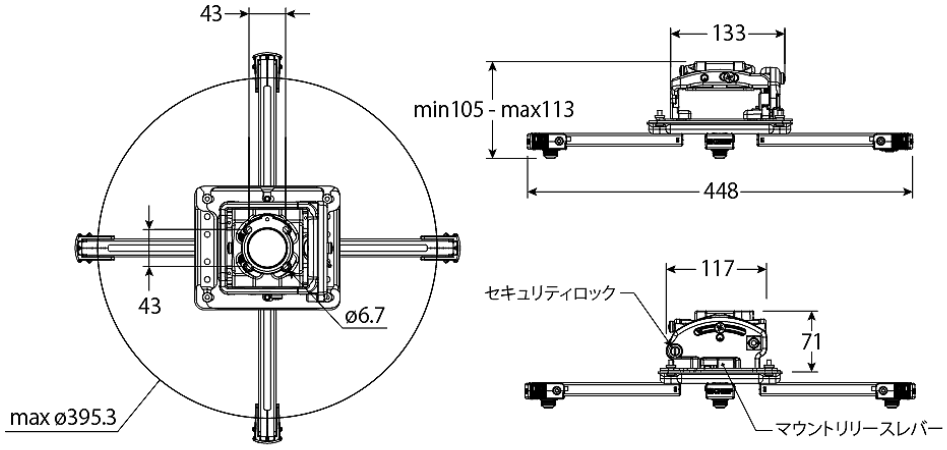
⚠ 警告

作業中、各種パーツや工具に指をはさまないようにご注意ください。

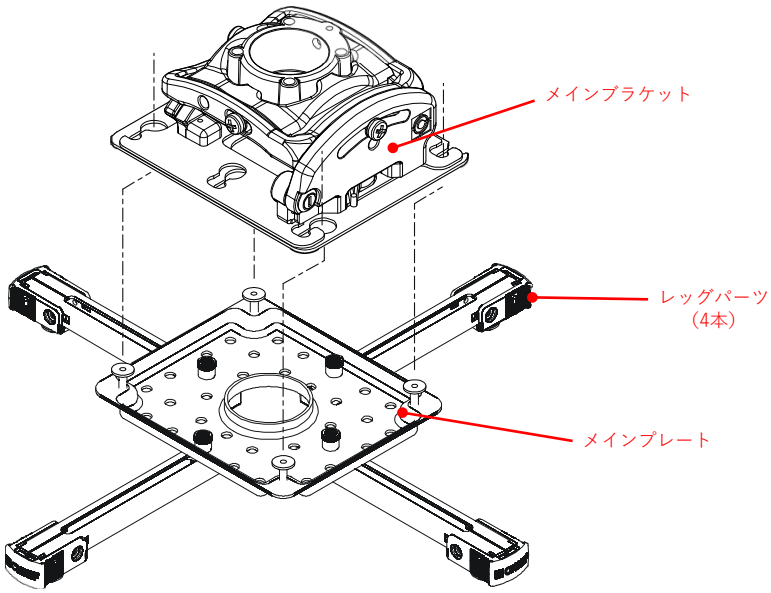
⚠ 警告

運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

●本体寸法図（単位mm）


43
43
ø6.7
max ø395.3
133
min105 - max113
448
117
セキュリティロック
71
マウントリリースレバー

●パーツ各種



セキュリティ
キー（2個）

ビスK（4個）
8-32×3/8ｲﾝﾁ

ビスL（4個）
8-32×1/4ｲﾝﾁ

ビスM（4個）
M2.5×10mm

ビスN（4個）
M3×10mm

ビスP（4個）
M4×10mm

ビスQ（4個）
M5×14mm

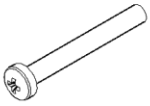
ビスR（4個）
M6×14mm

ワッシャーS
（4個）
M4

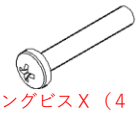
ナットQ
（4個）
M5×12mm

レンチU
（1個）
¼ｲﾝﾁ

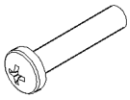
レンチV
（1個）
5/23ｲﾝﾁ



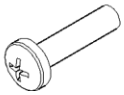
ロングビスW（4
個）
M3×25mm



ロングビスX（4
個）
M4×25mm



ロングビスY（4
個）
M5×25mm



ロングビスZ（4
個）
M6×25mm

スリーブワッシャ
A A（4個）

設置の前に

・設置場所について

- 吊下げもと（天井・躯体など）には総合荷重に長期間十分に耐え、地震や予想される振動外力にも十分に耐え得る施工を行ってください。
- 設置の前に、取付部強度を確認してください。
  強度不足の場合は十分な補強を行ってください。
- 荷重は躯体やトラスなどの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な箇所への直接取り付けは行わないでください。
  幅木や受け木、天井から吊りさげられた金具などには取り付けないでください。
- コンクリートの壁に取り付ける場合は、総合荷重に十分に耐えるアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行った場合、ブラケット本体やプロジェクターが落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分にご注意ください。

・設置方法について

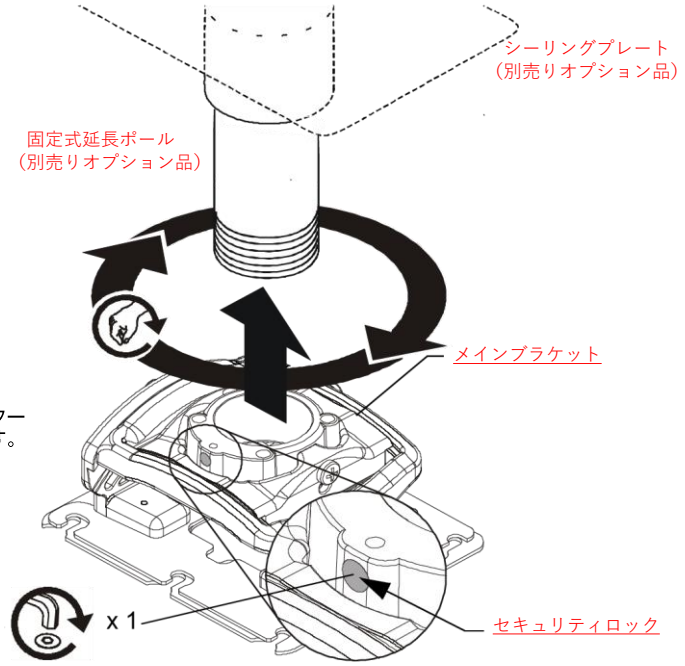
- 各種の壁に対応したアンカー類やネジ等は、じゅうぶんな強度を持ったものをご用意ください。
- 本取扱説明書の安全上のご注意の設置場所についてよくお読みのうえ、適切な設置場所を決めて下さい。
- 図に従って壁面にアンカー処理、下穴処理等を必要に応じて行ってください。
- 天井面など、取付箇所の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。

●メインブラケットの取り付け

▶手順①

メインブラケットを固定延長式ポール（別売りオプション品）に回転させながらねじ込みます。

セキュリティロックを締めることによって、メインブラケットと固定延長式ポールが固定され、回転しなくなります。

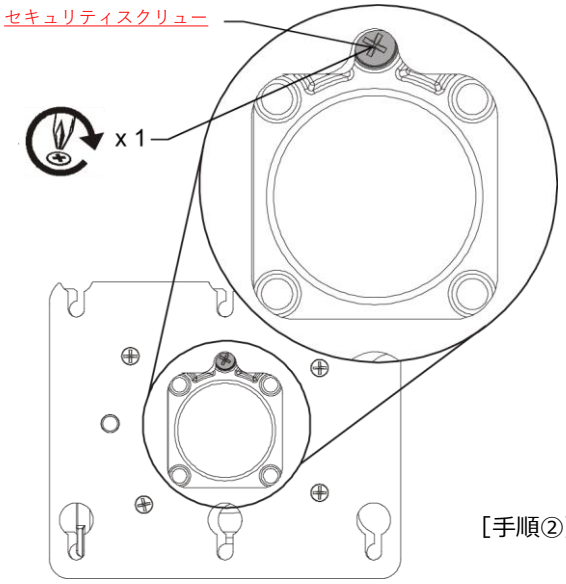


（注意）
・ポール固定ビスは確実に締めてください。
・メインブラケットの水平向きはプロジェクターを取り付けた後でも変更することができます。

［手順①］

▶備考

メインブラケット裏面にあるセキュリティスクリューを強く締め込みます。
メインブラケットごとプロジェクターを取り外すことができなくなり、セキュリティ効果が上がります。



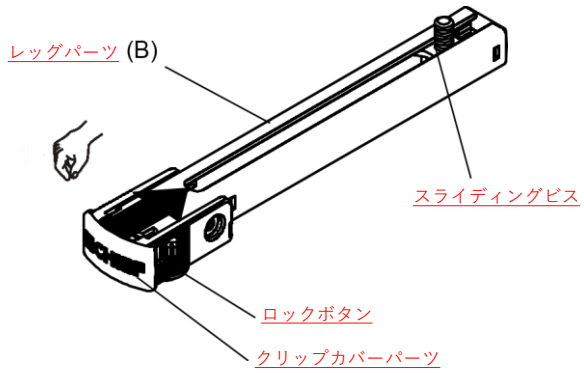
［手順②］ メインブラケット裏面（底面）

●レッグパーツの取りはずし

▶手順②

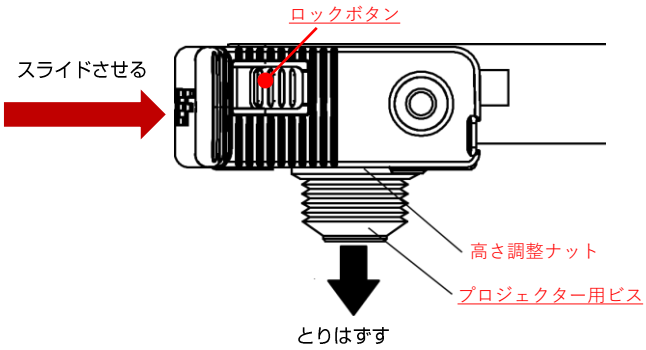
RPMA-U2Bはレッグパーツ（B）の組み合わせや、レイアウトの仕方によって、さまざまなメーカーのプロジェクターに対応することができます。

下のイラストを参考にして、レッグパーツからプロジェクター用ビスを取りはずしてください。



（プロジェクタービスを取りはずす方法）

・ロックボタンをつまみながら、クリップカバーパーツをスライドさせることで、プロジェクター用ビスを取りはずすことができます。

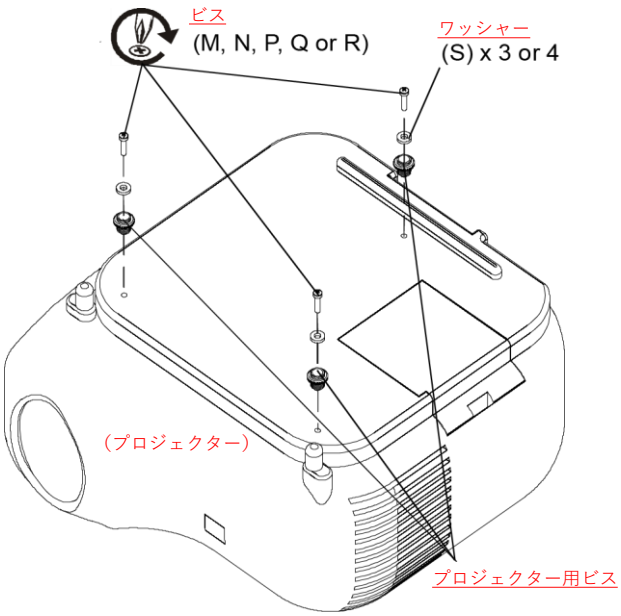


［手順②］

●プロジェクタービスの固定

▶手順③

手順②で取りはずしたプロジェクター用ビスをプロジェクターに取りつけます。



［手順③］

▶備考

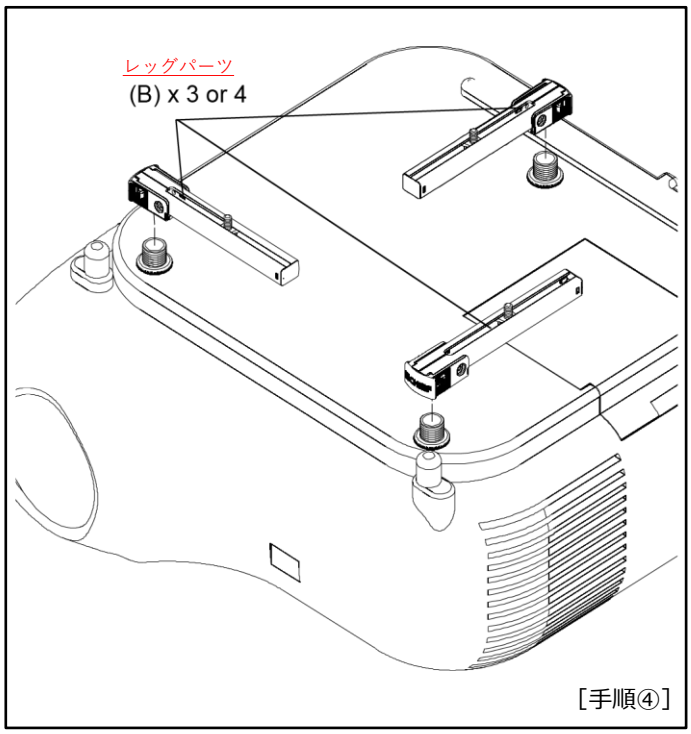
プロジェクター側の取り付け穴の高さが、その穴ごとに異なる場合は、ビス（M・N・P・Q・R）ではなく、ロングビス（W・X・Y・Z）またはナットＡＡなどを混合使用することで、高さを調整してください。

●レッグパーツの組み立て

▶手順④

手順③で取りつけたプロジェクター用ビスにレッグパーツ（B）ををはめ込みます。

手順②で取りはずした際と同じ要領で、レッグパーツ（B）のロックボタンを解除しなが、らプロジェクター用ビスに取りつけてください。



［手順④］

⚠ 注意

プロジェクタービスにレッグパーツ（B）がしっかりと固定されていることを確認してください。

この固定が不完全ですとプロジェクター本体が落下し、プロジェクター本体の破損、またはケガや事故などの原因となります。

●メインプレートの固定

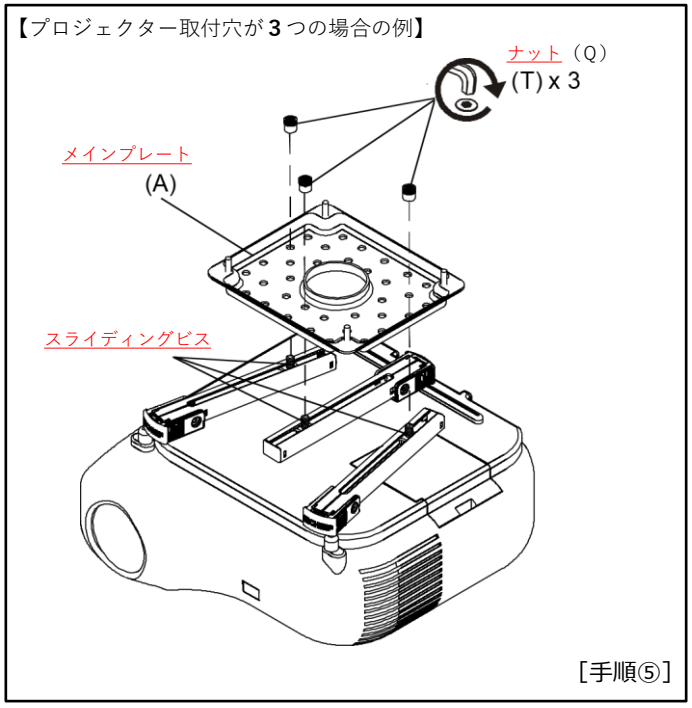
▶手順⑤

手順④で並べたレッグパーツ（B）のスライディングビスに対して、メインプレート（A）を取り付けます。

ナット（Q）を使用します。

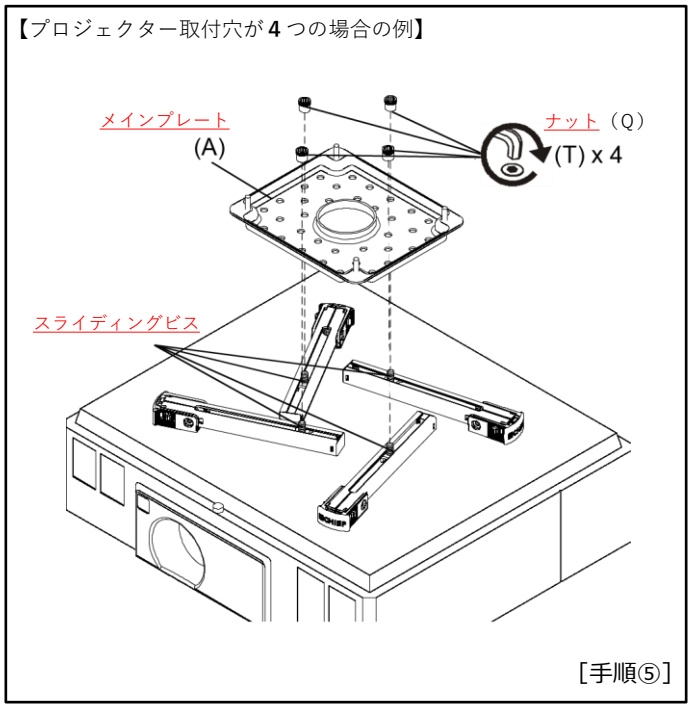
プロジェクターが前後左右に傾かない様に、バランスを保つことができるように、メインプレートの取り付け部分を調整してください。

【プロジェクター取付穴が **3** つの場合の例】



［手順⑤］

【プロジェクター取付穴が **4** つの場合の例】



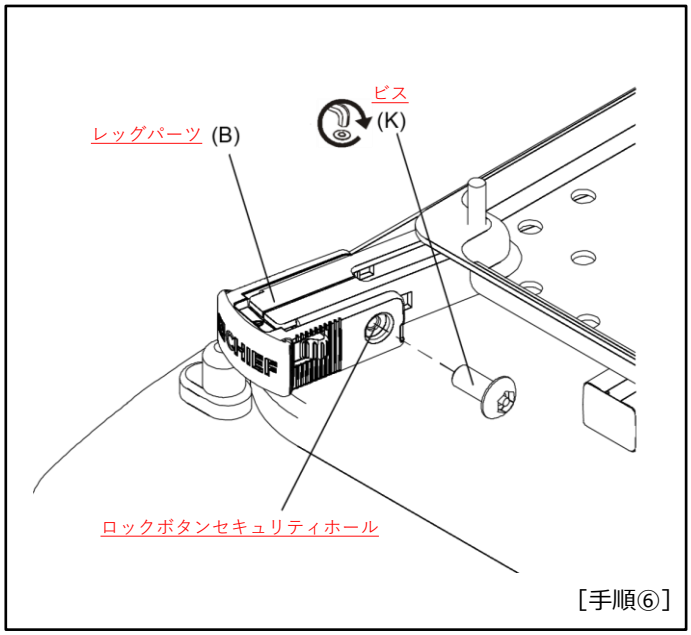
［手順⑤］

●メインプレートの固定

▶手順⑥

手順⑤でメインプレートの位置が決定したら、レッグパーツ（B）先端のロックボタン横にある、ロックボタンセキュティホールをビス（K）で固定　　します。

この固定をすると、誤ってクリップカバーをスライドさせる力が加わったとしても、クリップカバーがスライドせず、プロジェクターの落下を防止します。



［手順⑥］

⚠ 注意

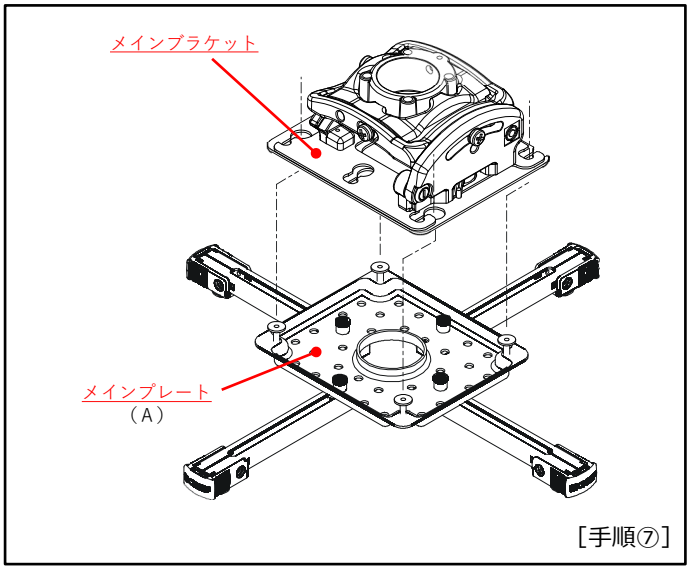
プロジェクター用ビスにレッグパーツがしっかりと固定されていることを確認してください。

この固定が不完全であると、プロジェクター本体が落下し、プロジェクター本体の破損、またはケガや事故などの原因となります。

●プロジェクターの吊下げ

▶手順⑦

メインブラケットにメインプレート（プロジェクター）を取り付けます。

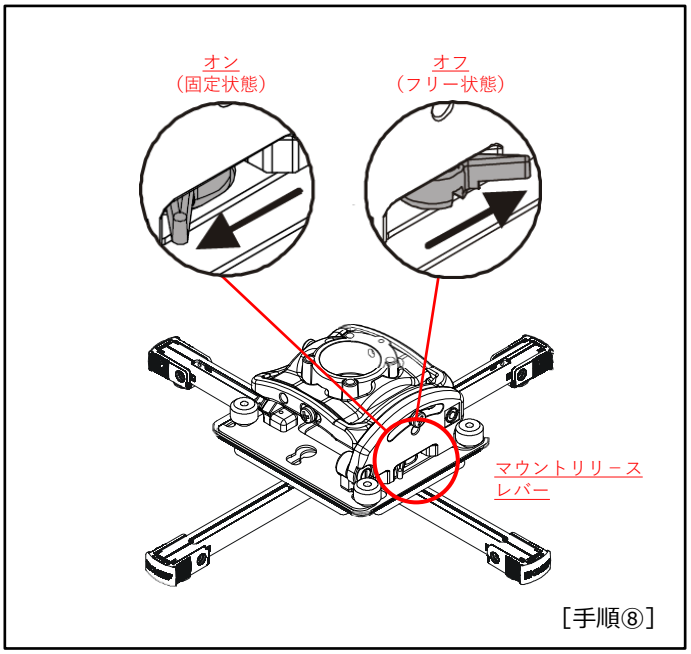


［手順⑦］

●プロジェクターの吊下げ

▶手順⑧

手順⑦をおこなったあと、ブラケット部分の脱落を防止するため必ずマウントリリースレバーをオン（固定状態）にしてください。

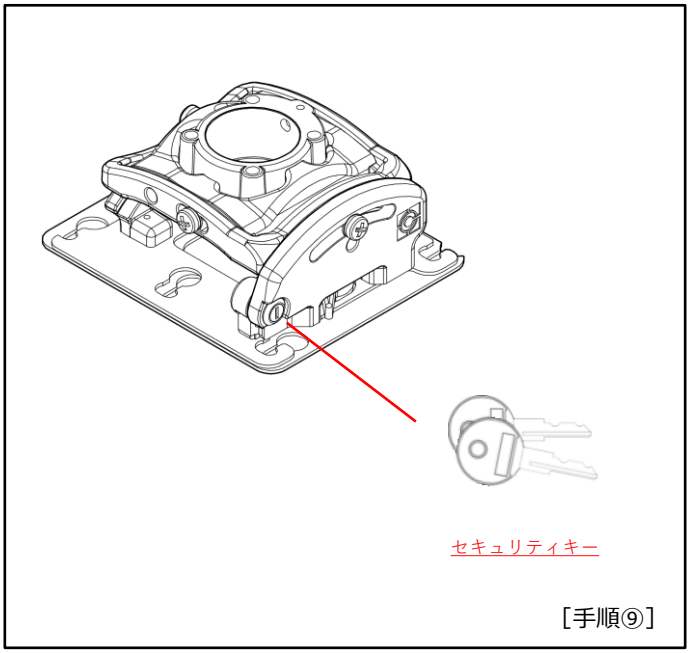


［手順⑧］

●プロジェクターの吊下げ

▶手順⑨

手順⑧で、マウントリリースレバーをロックした後に、かならず付属のセキュリティーキー（鍵）で固定して、管理者以外が不用意に機器を操作して脱落したりする事故を防いでください。
また、プロジェクターの修理やメンテナンスのために取り外す際に必要になりますので、紛失しないように保管してください。



［手順⑨］

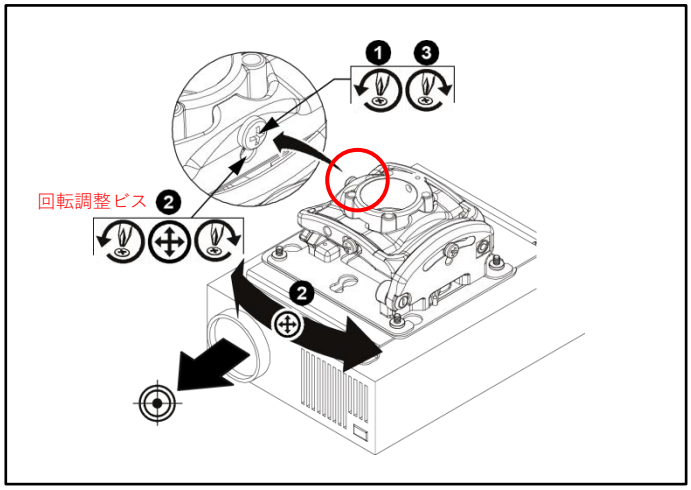
●プロジェクター調整

プロジェクターの水平方向・回転調整

▶手順❶
❶のビスを左側にまわして緩めると、プロジェクターの水平方向回転調整が可能な状態になります。

▶手順❷
❷の回転調整調整ビスをゆっくりとまわすことで、プロジェクター本体が水平方向に回転します。

▶手順❸
手順❷の作業が終了したら、ビスを右側にまわして締め込んでプロジェクターをしっかりと固定してください。

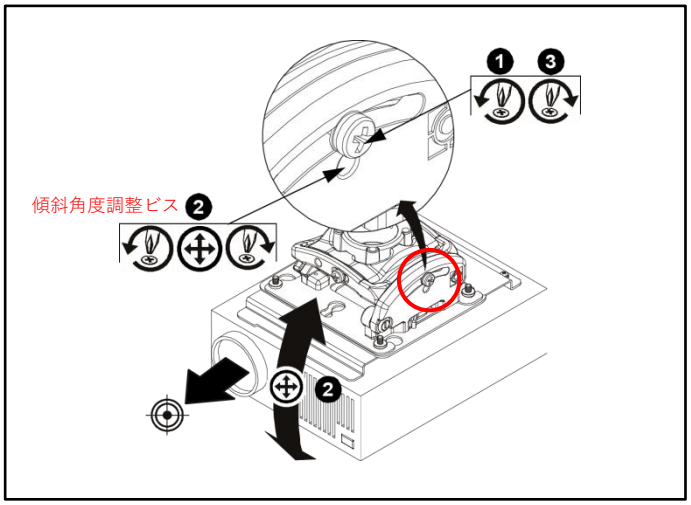


プロジェクターの前後方向・傾斜角度調整

▶手順❶
❶のビスを左側にまわして緩めると、プロジェクターの前後方向の傾斜角度調整が可能な状態になります。

▶手順❷
❷の傾斜角度調整ビスをゆっくりとまわすことで、プロジェクター本体の前後傾斜角度が変化します。

▶手順❸
手順❷の作業が終了したら、ビスを右側にまわして締め込んでプロジェクターをしっかりと固定してください。

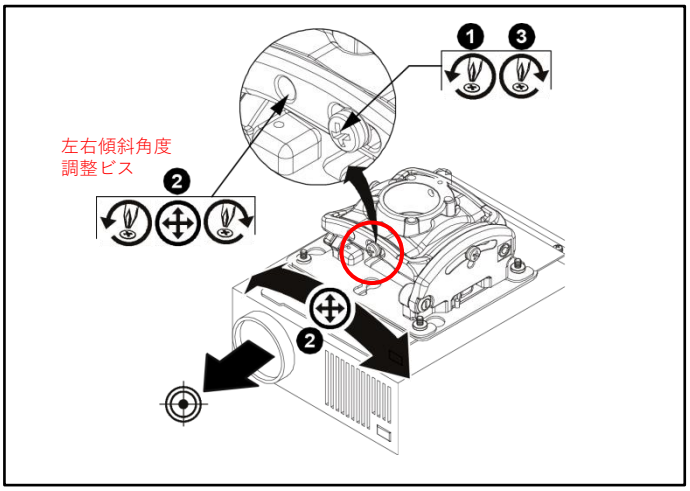


プロジェクターの左右傾き調整

▶手順❶
❶のビスを左側にまわして緩めると、プロジェクターの左右傾き角度調整が可能な状態になります。

▶手順❷
❷の左右傾き角度調整ビスをゆっくりとまわすことで、プロジェクター本体の左右傾き角度が変化します。

▶手順❸
手順❷の作業が終了したら、ビスを右側にまわして締め込んでプロジェクターをしっかりと固定してください。



http://www.avc.co.jp/

チーフ正規輸入総代理店

■システム販売事業部
＜首都圏＞ 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー8階 TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
＜関　西＞ 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-18-25 TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144

■本社オフィス 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー8階 TEL. 03-3527-8571(代) FAX. 03-3527-8580
■大阪オフィス 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-18-25 TEL. 06-6836-7591(代) FAX. 06-6310-6144
■名古屋オフィス 〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田3-31-25 TEL. 052-322-5791(代) FAX. 052-322-0219

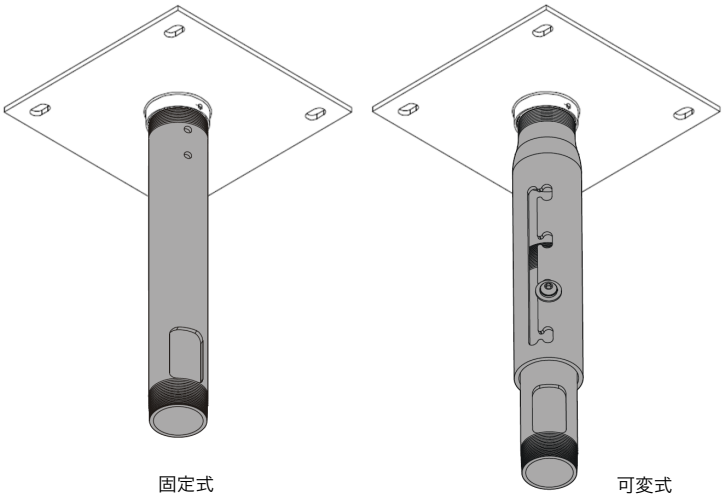
【関連会社】■広州愛惟希会展服務有限公司（広州・北京・上海） ■HONG KONG AVC LIMITED (香港)

第001版-05　2022年 7月29日発行

取扱説明書

固定式／可変式延長ポール

CMSシリーズ



このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

●お客様の安全のため、取付場所の強度は同時に取付けるディスプレイやマウントを含めた合計重量の少なくとも5倍に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工を行ってください。
●作業は必ず2名以上で行ってください。
●取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。

安全上のご注意

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生の可能性がある内容を示しています

警告：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。
警告：取り付けているネジがゆるんでいたり抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。
警告：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。
注意：運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設　置　の　前　に

■設置場所について

- 本製品を使用して設置するディスプレイマウントを含めた構造物は、同時に取付ける製品全ての重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうるよう施工を行なってください。
- 設置の前に、本製品及び取付けるディスプレイ機器の総重量を確認のうえ、設置する構造物の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。
- 本製品は屋内専用です。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法

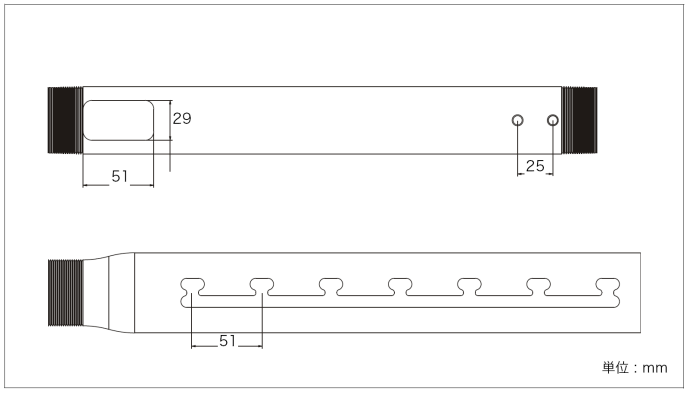
1. 本取扱説明書の安全上の注意についてよくお読みください。
2. 本製品と共に設置する天吊タイプマルチディスプレイマウント、その他アクセサリ、およびディスプレイ機器の説明書も併せてご確認下さい。
3. 設置する構造物の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。

■耐荷重量

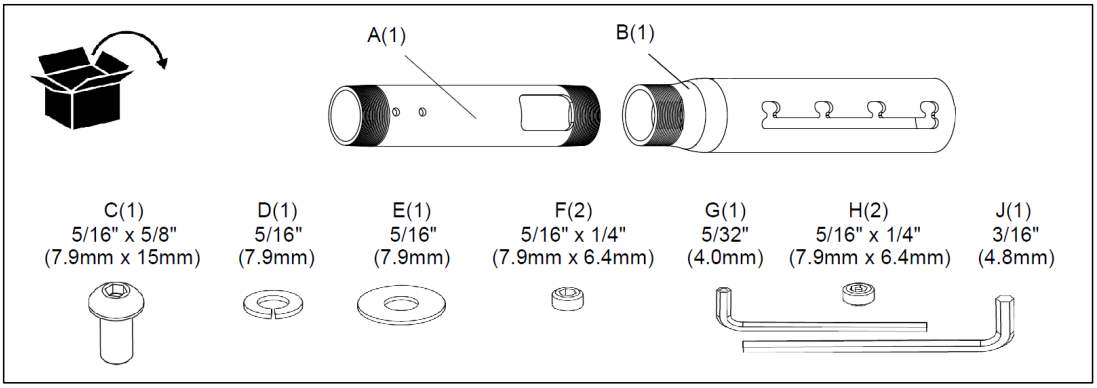
警告

本製品の耐荷重量は226kg (500lbs)です。
ただし、本製品の下部に取付けるディスプレイマウント側の耐荷重量が上記より軽い場合、そちらの耐荷重量を超える重量は取付らることができません。
取付工事業者様の責任において、耐荷重量を守ってご使用ください。

■寸法図



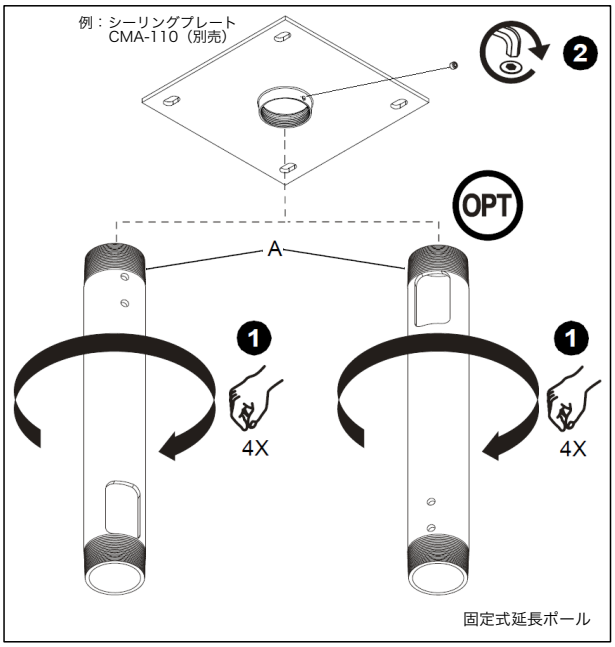
■本製品の封入物



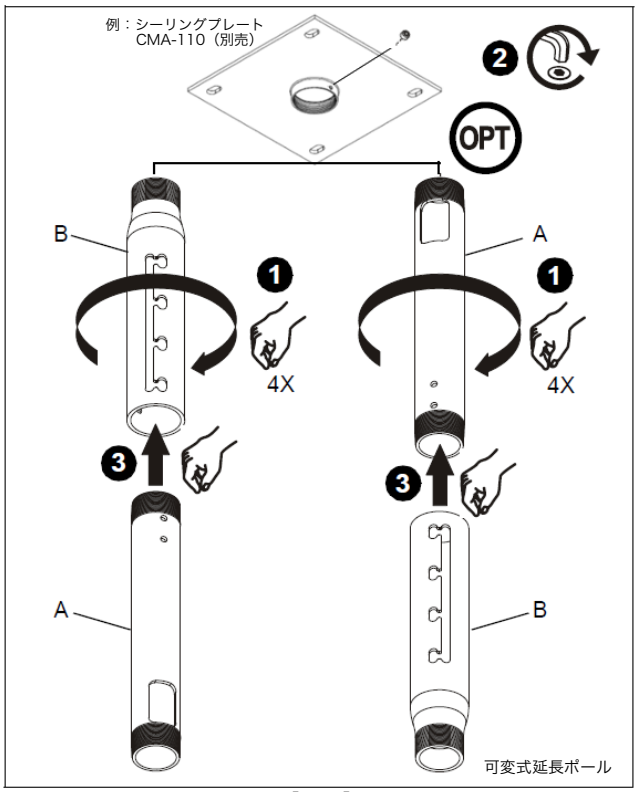
組　立　手　順

メモ：下記取付け方法は、このポールを取り付ける
シーリングプレート／アダプター／マウント側の
取扱説明書と共にお読みになってください。

メモ：こちらの延長ポールはCHIEF製品専用になります。対応の製品のみ合わせて使用してください。



【図-1】



【図-2】

【図-1】固定式延長ポール【図-2】可変式延長ポールとも、同じ作業手順です。

メモ：通線口（ケーブル用穴）部を上下部分どちらに設置するか、ご希望によりポール上下を決定します。
（通線口は、229mm以上の長さのポールにしかありませんのでご注意ください。）
【図-2】可変式のポールは、A部もしくはB部を上下どちらにするか決めます。

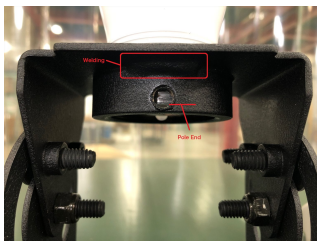
1. NPT規格のCHIEFシーリングプレート、もしくはシーリングアダプターとネジで締め上げて止めます。ポールをしっかり回して止めてください。

ねじ込んで取り付けますが、少なくとも4山以上、目安としてポールの塗装部分が見えない程度にねじ込んでください。

メモ：CMS/CMAシリーズパイプのネジはNPT規格によるテーパータイプですので、ねじ込むほど硬くなってきますが、締め付けを強くする目的の設計であり、異常ではありません。

また、構造上、商品との組み合わせによってはネジの嵌合に多少のばらつきがあることがありますが、無理に締め付けてこじらないように注意しながら4山は締めるようにしてください。
【　写真　】

ネジの嵌合については、仮り組みをするようにして、状況によってはネジの溝に少量のグリスを塗布してネジのコジリを防いでください。



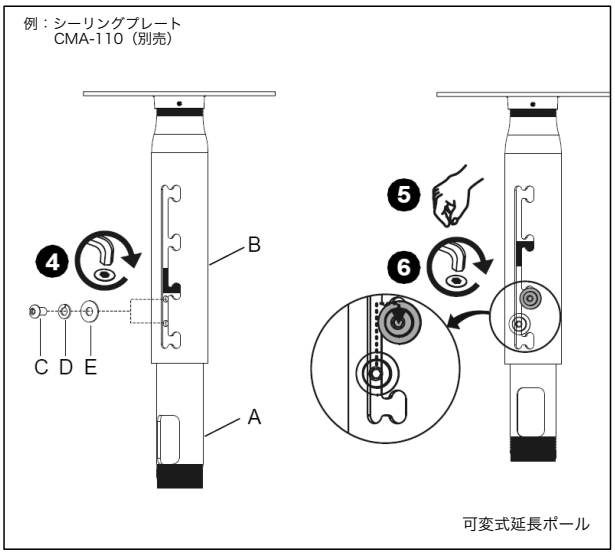
【　写真　】　ネジの嵌合の状態の例

2. 【図-1】の場合は(A)、【図-2】の場合は(A)もしくは(B)の穴をセットビスで固定します。

メモ：セットビスと六角レンチはプレートもしくはアダプター側に付属されています。

3. 【図-1】固定式延長ポールの場合はポール本体下に設置するマウントの取付に進んでください。その際ディスプレイマウント側の取扱説明書もご確認下さい。
【図-2】可変式ポールの場合は、もう一方のポールを取付けます。

（以下は、可変式延長ポールの組立の続きになります。）



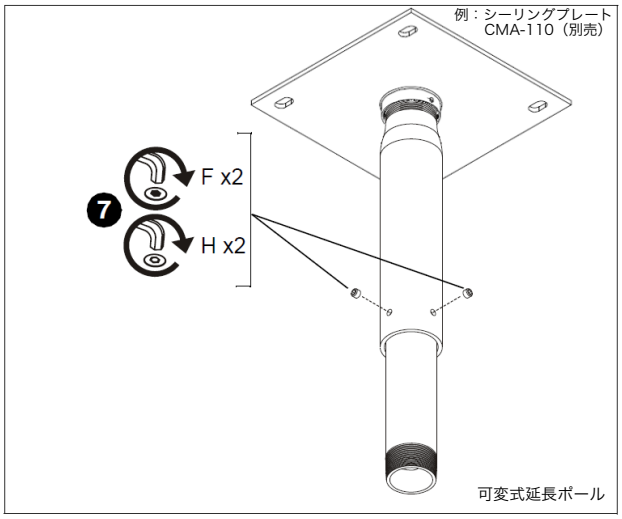
【図-3】

4. 【図-3】のようにポールBのスロットとAの穴を付属ネジ・ワッシャー(C)(D)(E)を付属レンチ(J)で緩めに留めて置きます。

メモ：2つの長さを選べるのは152mm(6インチ)以上の長さのポールに限ります。また、長さの調整は、Bのスロットとビス穴の組合せで25mm(１インチ)毎になります。

5. 希望の長さに調整し、さらにケーブル通線口の位置などを決めます。

6．4. で留めたネジとワッシャーを締めてしっかりと固定してください。



【図-4】

7. 付属の通常ネジ(F)、もしくはセキュリティネジ(H)を付属レンチ(G)を使って【図-4】のようにポール本体AとBを留めます。

8. ポール（本製品）下に設置するマウントの取付に進んでください。その際ディスプレイマウント側の取扱説明書もご確認下さい。

輸入販売元
http://www.avc.co.jp/
株式会社 映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.
■ システム販売事業部
<首都圏> 〒135-0063 東京都江東区有明 3-7-18 有明セントラルタワー 8階 TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
<関　西> 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-18-25 TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144

Copyright (c) 2020 Audio Visual Communications Ltd. All Rights Reserved.

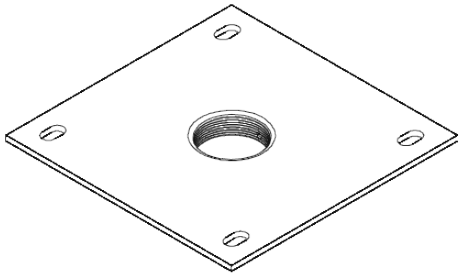
2020.11作成

取扱説明書

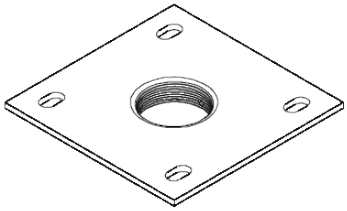
CHIEF

シーリングプレート

型番　CMA110 / CMA115W



CMA110



CMA115W

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

●お客様の安全のため、取付重量の強度には機器本体含むマウントブラケットやアクセサリー類の合計重量の少なくとも5倍に耐えるよう十分注意のうえ、施工を行ってください。
●作業は必ず2名以上で行ってください。
●取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。

安全上のご注意

警告と注意

警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生の可能性がある内容を示しています

設　置　の　前　に

■設置場所について

- 機器を取り付ける天井面は、総合重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる施工を行なってください。

- 設置の前に、ディスプレイと本製品を含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、天井面の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な天井面への直接取付けは行なわないでください。
  幅木や受け木、天井吊り金具には取り付けないでください。
- コンクリートの天井に取り付ける場合は、総重量に十分耐えるコンクリートアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法

1.各種の天井面に対応したアンカー類やネジ等は、十分な強度を持ったものをご用意ください。

2.本取扱説明書の安全上の注意の設置場所についてよくお読みのうえ、機器の天井面への適切な設置場所を決めてください。

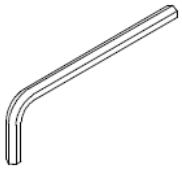
3.図に従って天井面への適切な下穴処理やアンカー固定を必要に応じて行なってください。

4.天井面の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。

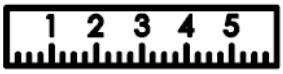
5.本製品は天井面にしっかりと取付けてください。本製品の取付穴4ヶ所にしっかりとボルト固定してください。

組　立　手　順

■本体の組立に最低限準備いただく工具

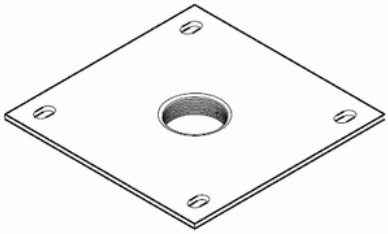


5/32" セキュリティ対応（同梱）
3/32" (同梱)

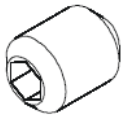


スケール

■プロジェクターマウント側の部品と封入物



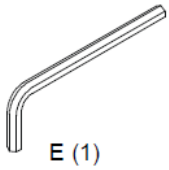
A (1)
シーリングプレート本体
(図はCMA110のものです)



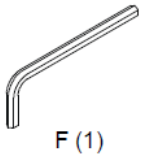
B (1)
#10-24 x 1/4"
セットビス

C (1)
#10-24 x 1/4"
セキュリティ用 セットビス

D (1)
セキュリティ用カバー



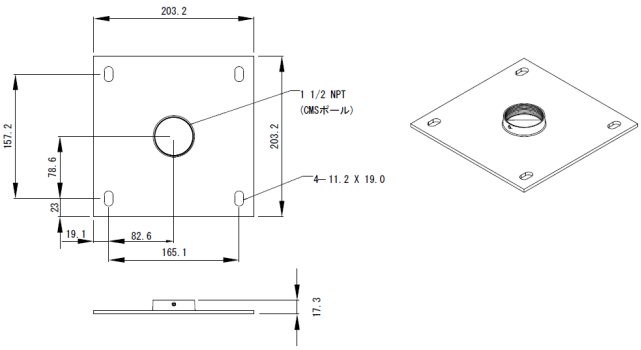
E (1)
5/32"
セキュリティ用 Lレンチ



F (1)
3/32"
Lレンチ

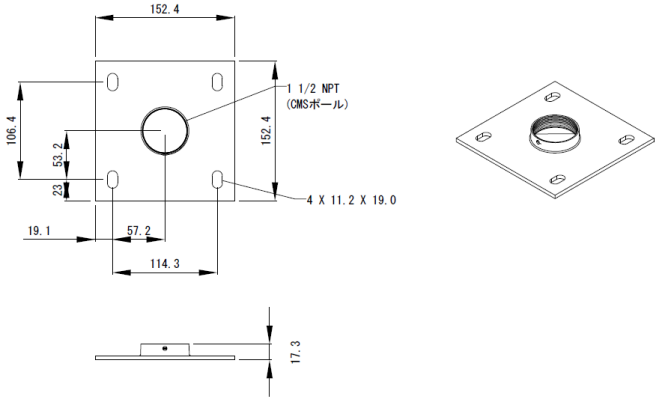
■寸法図

CMA110



単位：mm

CMA115 / CMA115W（白塗色モデル）

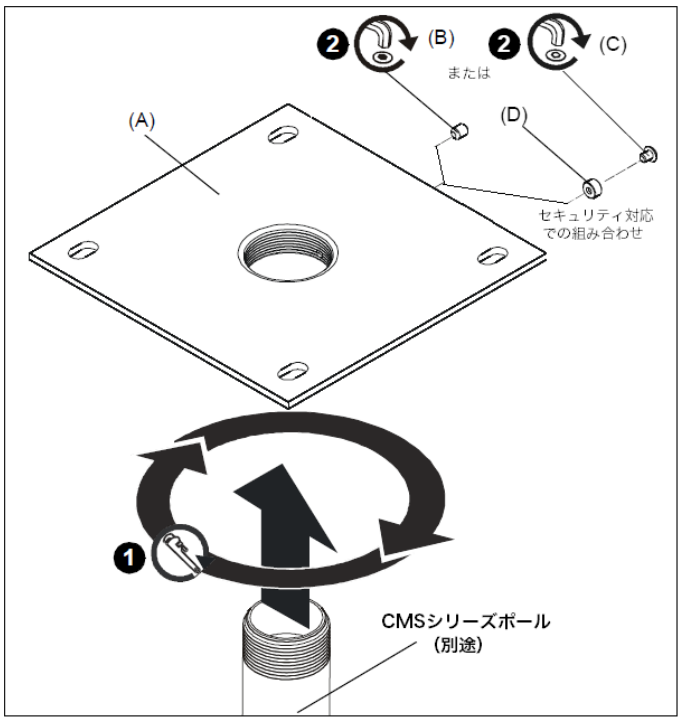


単位：mm

■シーリングプレートの天井への取り付け方法

施工業者の責任において、本製品と取り付ける全ての製品の重量の5倍に耐えられるように構造物の補強をしてください。

■シーリングプレートにポールを固定する



【図-1】

【図-1】CMS/CMAシリーズアクセサリーのパイプはねじ込んで取り付けますが、少なくとも4山以上、目安として6山程度はねじ込んでください。

パイプを取り付けたあとは、設置後の長期間の使用や天井やプロジェクターなどの振動から緩みなどを抑止するために、必ず固定用のセットビスを取りつけてください。

■付属ビスの使い方

付属のセットビスは一般的な固定方法とセキュリティ対応の固定方法が選択いただけるよう2種類の固定方法に対応できる部品が同梱しています。

目的に応じて固定方法を選択してください。

(2)の(B)セットビスで固定する場合

一般的な固定方法では、（B）のセットビスを使用してください。
着脱には（F）3/32” Lレンチを用いてください。

(2)の(C)セットビスで固定する場合

特にセキュリティ面で考慮が必要な場合は、（D）のセキュリティカバーを介して（C）のセキュリティ対応のセットビスで固定してください。

固定には（E）の5/32”セキュリティ用Lレンチを使用してください。

もし、移設などでとりはずす場合は（E）のセキュリティ対応Lレンチが必要ですので、紛失しないように保管してください。

輸入販売元
http://www.avc.co.jp/
株式会社 映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.
■ システム販売事業部
<首都圏> 〒135-0063 東京都江東区有明 3-7-18 有明セントラルタワー 8階 TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
<関　西> 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-18-25 TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144

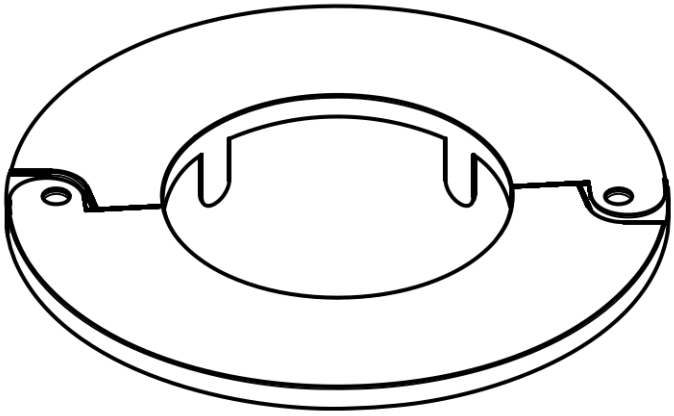
Copyright (c) 2015 Audio Visual Communications Ltd. All Rights Reserved.
2015.03作成

取扱説明書

CHIEF®
A brand of legrand®

化粧プレート

型番 CMA640 / CMA643



このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

●お客様の安全のため、取付場所の強度には機器本体含むディスプレイやプロジェクターおよび金具類の合計重量の少なくとも5倍に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工を行ってください。
●取付作業は必ず2名以上で行ってください。
●取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。

安全上のご注意

警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生の可能性がある内容を示しています

警告：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。
警告：取り付けているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。
警告：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。
警告：ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。またケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。
注意：運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設　置　の　前　に

■設置場所について

- 本製品を使用して設置するディスプレイスタンドを含めた構造物は、同時に取付ける製品全ての重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうるよう施工を行なってください。
- 設置の前に、本製品及び取付けるディスプレイ機器の総重量を確認のうえ、設置する構造物の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 本製品は特定の対応機種に外付けケースの機能を追加するための別売アクセサリーであり、本製品自体を他社製品で使用できるものではありません。
- 本製品は屋内専用です。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

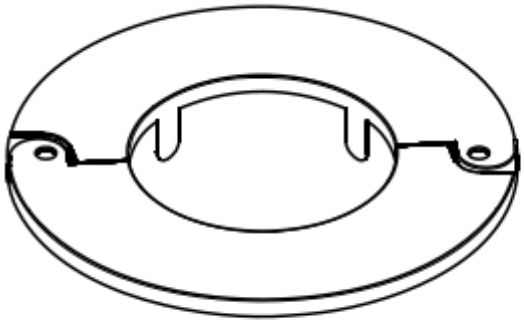
■設置方法

1.本取扱説明書の安全上の注意についてよくお読みのうえ、適切な取付場所を決めてください。

2.取り付ける箇所に対応した取付金具やネジ等は、しっかりととりつけてください。

組　立　手　順

■本体の組立に準備いただく工具　■本製品の封入物

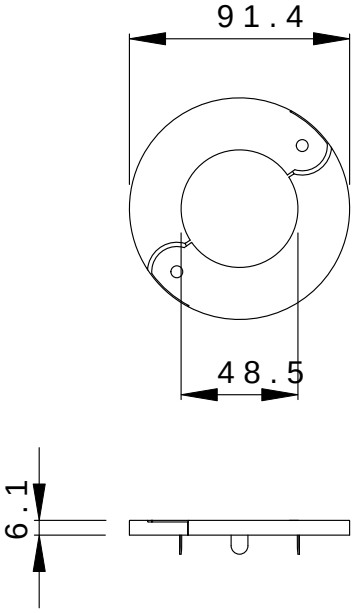


化粧プレート
CMA640 / CMA643

■本製品の寸法

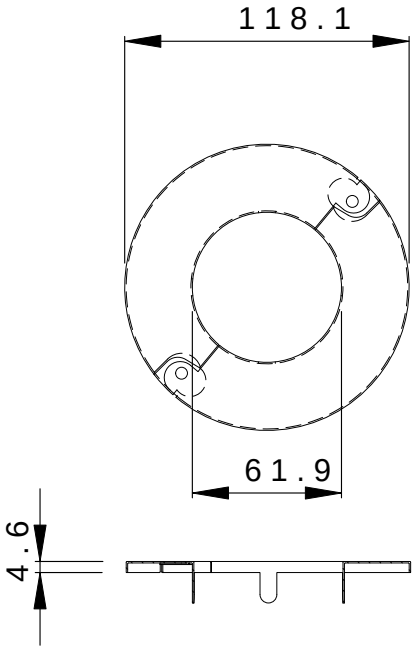
CMA640

CMSシリーズパイプの固定長タイプまたは、
可変タイプの細い側に取り付けることができます。



CMA643

CMSシリーズパイプの可変タイプの太い側
が天井板を貫通する際に使用してください。



単位：mm

■組立て手順

本製品はCHIEF製シーリングマウント製品を取り付ける場合、CMSシリーズパイプが天井を貫通して設置した後に天井板とパイプ間の貫通孔のすきまを見えないように仕上げるための化粧プレートです。

地震の際にポールが振動して天井板に干渉しないようにやや大きめの穴をあけておきたい場合などにもご活用いただけます。

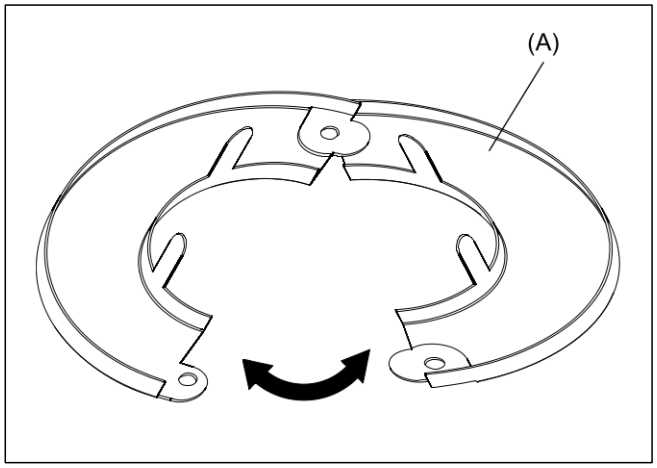
注意：本製品はCHIEF製品以外の機器に取り付けることは想定していません。

注意：本製品は薄型の金属でできています。取り扱う際は突起などで手指などを傷めないように注意して、必要に応じて手袋などをお使いになり安全に作業してください。

■取り付け方法

1. シーリングプレート、延長アクセサリ（CMSポール類、ブラケット）、プロジェクターを、メーカーが提供する設置説明書に従って設置してください。

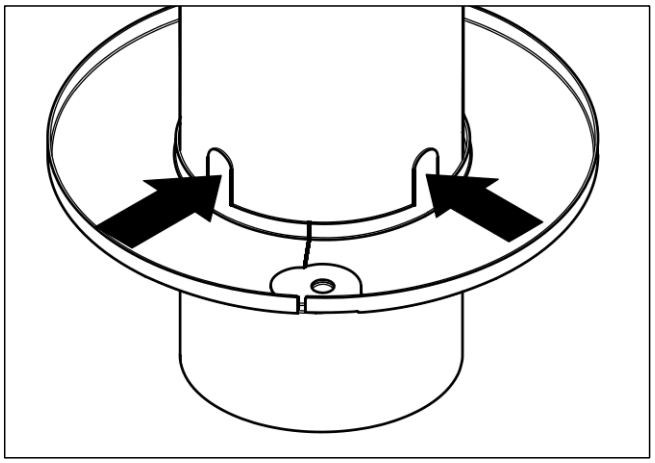
2. 本製品 (A)を開きます。(図1参照)）



【図-1】

3. 本製品を、つまみが上になるようにパイプの周囲に配置し、1.で開いた逆の手順で本製品 (A)を閉じてください。

4. 本製品が脱落しないようにタブをパイプの方に押し込み、CMAを天井側に押し上げて固定してください。(図2参照)



【図-2】

http://www.avc.co.jp/

株式会社 映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.

■ システム販売事業部
＜首都圏＞ 〒135-0063 東京都江東区有明 3-7-18 有明セントラルタワー 8階 TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
＜関　西＞ 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-18-25 TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144

Copyright (c) 2022 Audio Visual Communications Ltd. All Rights Reserved.

2022.07作成